

笑ってごらん

第 635 号 H. 30. 10. 15 発行

～今日の格言～

もっと楽しもう！

楽しむことからしかアイデアは生まれない。

(ジャック・フォスター)



続けて猛烈な勢力の台風が接近・上陸し、所によっては大きな災害の爪痕を残した。前後して、北海道においては地震が相次ぎ、未だに余震が続いており心配である。

季節は確実に冬へと移行している。大型台風によって空気がかき乱された結果なのかも知れない。朝晩はめっきり冷え込み、日中も窓を開けることはあってもエアコンのスイッチを入れることは無くなった。

生徒の皆さんの装いも中間服姿が目立つようになった。暑がりの私自身も一日中長袖シャツを着ていても汗ひとつかくことはない。過ごしやすい気候になったと感じている。



2 週続けて姉妹校の鴨池しらうめ幼稚園ならびに加世田しらうめ幼稚園のうんどうかいに来賓として参加した。

かけっこや集団演技（おゆうぎ）・リレーなど趣向を凝らした競技に園児たちが元気よく取り組む姿がとても可愛かった。

毎回のことではあるが、うんどうかいに参加して感心することがある。それは、おとうさん・おかあさんたち保護者スタッフの協力体制が素晴らしいということ。

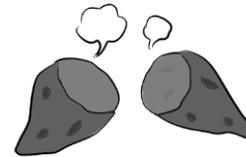
本校であれば、準備や練習を進めていくうちに、何をどうしたらいいかということについては自然に理解できるものであるが、幼稚園の保護者は常に園内にいる訳ではない。日頃はお仕事ゆえプログラムの進行や雰囲気について熟知できている訳でもない。しかし、当日は、プログラムごとに設営担当の保護者が基準線をテキパキと引いていく。用具担当の保護者は必要な物品を正しい場所に的確に運んでいく。その一連の動きが滑らかであり、準備が滞ってプログラム進行を邪魔することもない。それが素晴らしいのだ。

それにも増して園児たちもすごい！ おゆうぎの隊形移動もバッチリうまくいった。また、その際、グループの中に必ず誰か一人リーダーみたいな子がいて、隣近所の子の立ち位置を修正している。そういう光景が観えて微笑ましい。癒やされっぱなしのひとときであった。



しかし、なんだか一足飛びに夏から冬へ変わった感じがしてならない。ゆっくりと季節の移り変わりを、秋を楽しむことができなくなった。

残念な感じもするが、一方ではいろいろと食を楽しむことができるシーズンであることも確か。くれぐれも体重増加にならないように気をつけよう！（と、自分に言い聞かせている・・・）



先日、がん免疫療法の開発でノーベル医学生理学賞に輝いた京都大学特別教授の本庶佑氏。
柴山文部科学大臣へ感謝の気持ちを込め色紙を渡したという。
そこには『有志竟成（ゆうしききょうせい）』と書かれていた。（「物事は」志があればついに成る」という意味らしい。
開発されたがん治療薬オプジーボで助かった人も多い。今後の普及に向けた取り組みに期待する。